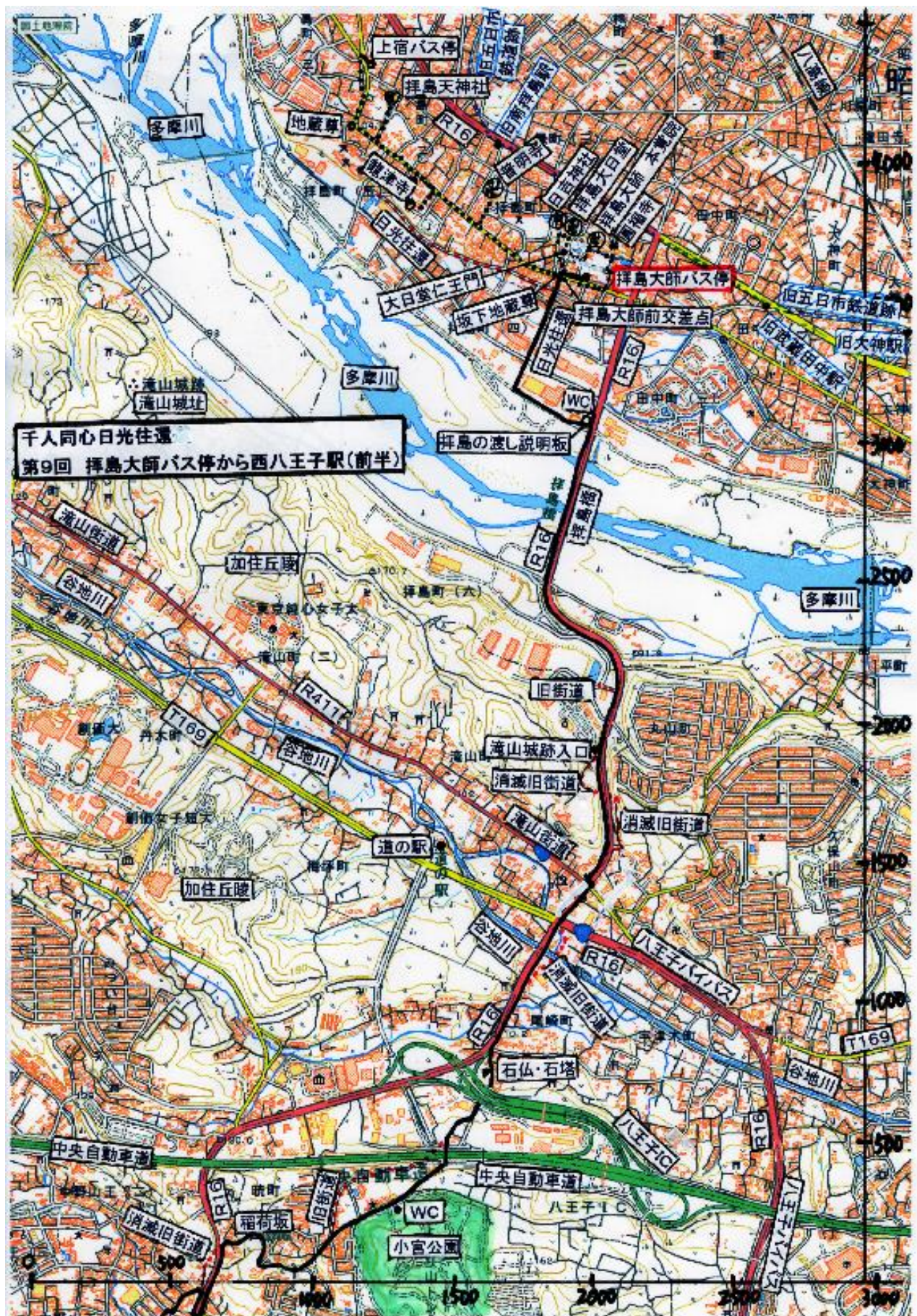




拝島駅から拝島大師バス停までバスに乗る。拝島大師バス停で降り、少し戻る。拝島大師南大門を過ぎ、坂下地藏尊・大日堂の参道の交差点を左折し直進する。



40m程の十字路で右側から来る道が日光街道（日光脇往還）で、街道は右折（今歩いて来た方からは直進）し、400m弱の多摩川の堤防まで真直ぐに進む。



日光街道は直進し、この付近の「拝島の渡し」で多摩川を渡ったのだが、今は渡れないので、堤防沿いに下流へ向かう。



240m弱で道は分かれるので左の国道16号線を潜る道を進むと左手に小さな児童公園があり、その国道の側壁に「拝島の渡し」説明板がある。（トイレあり）



「拝島の渡し」

拝島橋の上流百メートルほどのところに、その昔、“拝島の渡し”と呼ばれる日光街道の渡し場がありました。日光街道は、江戸時代初期の慶安年間(1648～52)に、八王子千人同心が日光勤番に赴く際の往還路として開かれた公道で、江戸時代を通じて上州（群馬県）方面と八王子を結ぶ重要な街道として機能していた。

この渡しの管理は拝島村によって行われ、数人の船頭さんが常駐して随時船を往復させていた。

もっとも、船を運行していたのは春から秋にかけてで、冬の渇水期には数艘の船を浮かべ、その上に

板を渡した浮き橋に仕立てることもありました。文久元年(1861)の記録によると、渡し賃は平水時が一人二十四文、大水の時は割増料金を徴収するといった定めがありました。

明治時代に入っても、なお盛んに利用され、昭和十年代には八王子―川越(埼玉県)間を走る定期バスが、この渡し船を利用して多摩川を渡ってこともありました。しかし、明治後期から昭和初期にかけ、鉄道網・道路網の整備が進み、拝島の渡しは次第にすたれ、昭和二十年ごろまでにはほぼ利用しなくなり仮設の木橋が架けられて、細々と機能しておりました。

その後、昭和三十年、拝島橋が開通し、この地に再び重要な渡河地点となって今日に至っています。



国道16号線は、572.0mの拝島橋を渡る。左カーブから右カーブと加住丘陵(滝山丘陵)を登る。右カーブの途中に「横浜から45km」の距離標識があり、その直ぐ先に「昭島市」の標識がある。



右カーブが終わりかかった右側に閉鎖されている舗装道路があるが、この道路が日光往還である。

その先に右側に「滝山城跡入口」の看板があり、上る道があるが、この道が旧道のように、旧道は国

道16号線の切通しの上を行っただと思われる。が、今は道が消滅してしまっているの、国道を進むしかない。



国道は下りとなり、滝山街道入口の左入町交差点で国道を左に渡る。その先の左入橋交差点の先の左入橋で旧谷地川を渡る。旧道は、旧谷地川に沿って右カーブして進むが、道が消滅したので、国道16号線を進む。



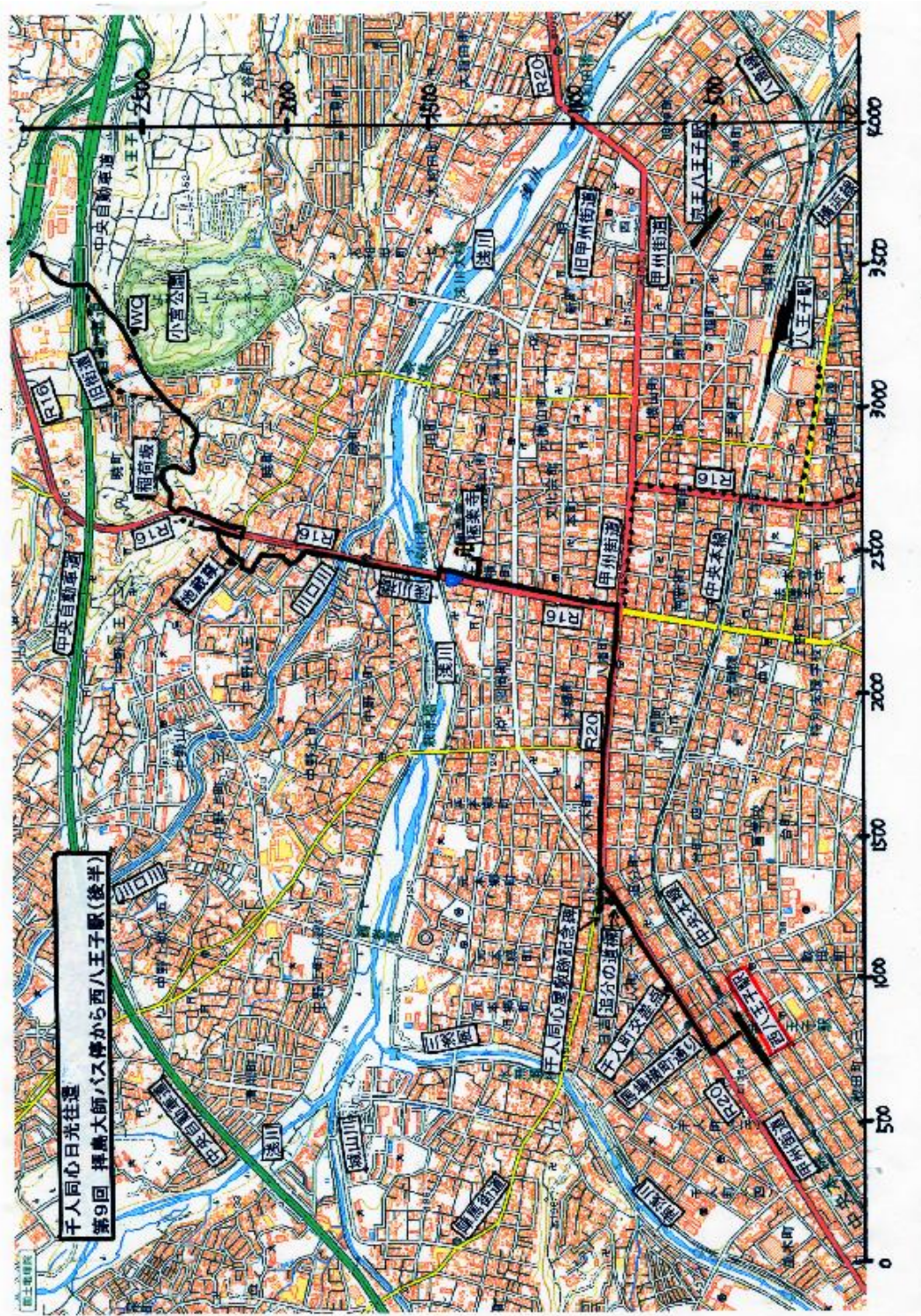
谷地川を渡ると、少しずつ上り坂となり、谷地川から380m程の八王子IC入口の左の「手打そばうどんほていや」の看板のある道に入る。国道16号線との分岐から50m強進んだ右手に「石仏・石塔」が4基並んでいる。



道なりに進み、八王子ICループの下を潜り、「鶯啼庵」の先の三叉路は右に上り、左カーブして上り、中央自動車道を橋（ひよどり第一橋）で渡るはずが、《一回目の間違い》真直ぐに上ってしまいました。真直ぐに上り、中央高速自動車道の跨道橋を渡る。渡ったところで道は真直ぐと右（旧街道）に分かれる。



旧街道は高速道路ぞいに右へ行くが、今回は、坂上の「小宮公園」でトイレ休憩と昼食を取るため直進し、急坂を上る。上った左に「小宮公園」の入口があり、右手奥にトイレがある。(11:39)
入口近くのベンチで昼食。





12:08、出発。公園内を道路に沿って進み、「ひよどり山中学校」の正門の先で道路に出て、横断歩道を渡って左折。

100m程で右から先ほど分かれた旧街道と合流する5差路に着く。5差路の左から2つ目のほぼ直進する道を進む。



ここから下りが始まる。カーブして下り、「八王子うかい亭」からは急な右・左とカーブが続き、更に右、左と曲がって下ると国道16号線にぶつかる。(この坂を稲荷坂という)



旧街道は、国道を斜め左に突っ切るのだが、横断できないので次の信号まで下り、横断。国道で分断された近くまで戻り左折して旧街道に入る。《二回目の間違い》右折して東京環状に沿って少し戻ると先ほど横切れなかった旧街道に出会うのだが、戻ることを失念し、東京環状に沿って進んでしまった。折本さんに間違いを指摘され、慌てて旧街道に行くように軌道修正した。(せっかくの旧街道を若干歩くことが出来ず、申しわけない気持ちで一杯)。ここから中野中央通りまで旧街道を歩くことができなかった。旧街道は住宅地で消滅しているので、出来る限り旧街道に近いと思われる道を進む。

中野中央通りの信号で右折。次の十字路を左折し、道なりに右カーブして進む。左角に「薬局あおば」がある少し太い道路を左折すると国道16号線に出るので右折。川口川を渡し、浅川を渡し、浅川橋南信号で国道を左側に渡り右折。



白い長い塀の先に「極楽寺」の山門がある。閉まっている場合は、先の最初の左の道を入った先、左側に極楽寺の裏門がある。（12：47）



極楽寺

極楽寺は、寶樹山と号し、浄土宗の寺院。永正元年(1504)、鎮譽即也によって滝山城下に創建。北条氏照が八王子に居城を移した元龜二年(1571)から天正十五年(1587)の間頃、当寺も八王子城下の梶原谷（現在の元八王子三の梶原神社あたりか）に移転。天正十八年(1590)の豊臣秀吉の小田原征伐の際に兵火で焼失。天正十九年(1591)、徳川家康より武蔵国八王子（後に横山）に所領を与えられた大久保長安が当地に再建した。



本堂に祀られている本尊は、阿弥陀如来立像。

八王子市指定有形文化財 木像阿弥陀如来立像（齒吹尊）

極楽寺の本尊であるこの仏像は、鎌倉末から室町時代にかけての「安阿弥」の作と伝えられる寄木造りの仏像である。秘伝とされているため普通は見ることができない。

齒吹尊（如来）または鼻取如来といわれるが、齒吹尊のいわれは「異相にして唇開き齒白く見えるゆえ」と伝えられ、見る人の心で忿怒の相とも笑顔の相にも見えるという。鼻取如来は、その昔（八王子城下にあった頃）寺男が怠けているので、この如来が小僧に身を変じて現れ、馬の鼻先を取って水田を

耕作したとの伝説によるようである。

八王子市教育委員会

境内には、八王子に「横山宿」をつくった「長田（おさだ）作左衛門」の墓、千人同心組頭の一人で、『新編武蔵風土記稿』の編纂に加わった「塩野適斎」の墓、武田信玄の五男仁科盛信の娘「小督（こごう）」の墓がある。

東京都指定旧跡 長田作左衛門墓

長田（おさだ）作左衛門は、はじめ北条氏照の家臣であったといわれています。八王子城落城後は前田家に従ったと伝えられています。その後、作左衛門は八王子城の東方、横山の地に横山宿をつくり市場を發展させました。これは今日の八王子市の發展の基礎となったといわれています。元和三年（1617）に亡くなったと伝えられています。

現在残っている供養塔は、天保年間初期に長田氏の子孫である川邊、金丸及び飯島の各氏が願主となり、嘉永年間に建立されたものといわれています。右手にある塚も、昭和63年の確認調査の結果、同時代に建設されたものと推測される。 東京都教育委員会



長田作左衛門墓



塚

東京都旧跡 塩野適斎墓

適斎は千人同心の一人であったが、享和年間（1801～1804）幕命により蝦夷地の経営に従った。のち原胤敦や植田孟縉（ともに墓地は八王子市内にある）らとともに『新編武蔵風土記稿』の編纂に従い、また『相模風土記稿』の編纂にも従事している。

これらのほかに『桑都日記』『築井県行記』『日光客中漫筆』『文敲』など多くの著書がある。諱は轍、字は子明。通称を所左衛門、適斎のほか笛水とも号している。弘化4年（1847）11月16日、73歳で歿した。 東京都教育委員会



塩野適斎墓

東京都指定旧跡 玉田院（ぎょくでんいん）墓

玉田院は俗名を小督（こごう）といい、武田信玄（晴信）の五男仁科五郎盛信の娘です。天正七年（1579）に盛信の居城である信濃の高遠城で生まれたと推定されます。

天正十年（1582）織田軍による甲州攻めの戦禍を避けるため、叔母である松姫らとともに高遠城から八王子へと逃れ、この地で暮らしました。後に、関東の代官頭となり八王子に陣屋を構えた武田氏の遺臣大久保長安の庇護を受け、寺を寄贈されます。まもなく小督は出家し生壺尼（しょういちに）となりますが、病を得て、慶長十三年（1608）に29歳で歿しました。

その後、寺は小督の戒名である「玉田院光誉睿室貞舜尼」にちなんで「玉田院」と呼ばれるようになりました。当初、墓は玉田院にありましたが、元禄年間に廃寺となり荒れ果てていたのを仁科家の子孫である仁科資直（すけざね）が正徳五年（1715）に極楽寺へと改葬しました。

東京都教育委員会



玉田院（ぎょくでんいん）墓

13：08 極楽寺を出、国道16号線を南下。500m程の八幡町交差点を右折し、国道20号線（甲州街道）を進む。交差点を900m強進むと、甲州街道と陣馬街道の分岐追分の交差点に着く。



歩道橋を渡り、甲州街道と陣馬街道の分かれたところが追分で、かつて「甲州道中高尾山道道標・追分の道標」があったが、今は甲州街道を30m程行った所に移設されている。陣馬街道を70m弱行った所に「千人同心屋敷跡記念碑」がある。13：41





ここで八王子千人同心日光往還の半分南部分のウォークは終了となる。
次回からは本来の大山街道八王子道を歩くことになる。



戻って追分から**道標**を見て甲州街道を**440m**程進むと「千人町」交差点で、ここから**140m**程で「馬場横丁」の石柱がある「馬場横町通り」と交差する西八王子東信号交差点を左折しＪＲ西八王子駅に向う。13時58分に駅前に到着。今日はここまで。